

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」長野稲葉校		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年12月27日まで
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年12月27日まで
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業所向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小規模集団療育や個別療育での対応から、丁寧でより深いアセスメントができ、お子さんにとってよりよい支援内容を検討し、実施していけることが強みです。	・アセスメントは、児発管が実際のお子さんの姿から見て取ったりお母様からの聞き取りや、支援の中で深い関わりを持っている支援担当者や、お子さん自身からも聞き取りを行う事で、精度の高いアセスメントとなるよう取り組んでおります。・小集団の中での姿や、個別支援での姿を合わせて見取っております。・個別療育のみのお子さんの場合は、保育園さんや幼稚園さんと連携して園訪問を行って、様子を拝見することで集団の中での姿を確認するようにしております。	これまで、幼稚園さんや保育園さんへの訪問も取り入れたり、担当職員さんからの聞き取りも行っております。定期的に支援者会議や電話等での情報共有を行う機会も設けております。少しでもお互いの情報を共有し合って、連携を大切にサポートしてまいります。
2	認識がしやすい「きらり」の小集団療育で力をつけて、大きな集団への移行が行いやすいところが強みです。	・不安が高いお子さんには、まずは少数でのグループ分けを行い、その時々で、お子さんに合わせた声掛けや配慮を行うようにしています。少数での活動で、自信をつけ、人数の多いグループへの活動に繋がるようサポートしております。	小集団に入ることに抵抗があるお子さんには、個別のペースから、小集団の様子を見学する機会を持つなど、参加してみたいという気持ちを引き出し出していけるよう取り組んでおります。個々の個性に合わせて、サポートの方法は違いますが、『安心と自信』を大切に育ててまいります。
3	支援を受けるお子さんにとって刺激の少ない環境を用意し、お子さんに合わせて視覚的なサポートも行っていることが強みです。	・支援で使用するスペースは、壁画制作物や装飾のない壁やパーテーションを用いて、刺激を調整し、個別療育の時には、支援ブースを区切ることでより安心しやすかったりあ、集中しやすい環境を整えています。・おさんに応じて支援スペースの大きさや机の配置等を調整しております。	お子さんに応じて安心し集中して活動に取り組めるよう環境を整えてまいりました。今後も一人ひとりのお子さんに応じて、音や光、刺激物等の目や耳からの刺激が調整するなど、工夫して取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域の方々が活動に参加する機会の提供	令和7年(今年度)4月に開所し、少しずつ、地域の幼稚園さん保育園さんとのやり取りが出てきておりますが、お子さん自身が往訪して交流するという機会がありませんでした。	「きらり」利用中のお子さんの保育園・幼稚園への訪問は行ってきているので、関係のある機関との交流を行えるよう取組んでまいります。また、地域に開かれた事業所でもあるよう、地域の方々との交流を準備してまいります。
2	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会等の提供	現段階では、ペアレントトレーニング開催予定が、令和8年3月頃となっております。開所してから、安心心・安定の支援提供を行うことを第一に取組んできました。	令和8年3月:ペアレントトレーニング開催に向けて、準備を進めていき、日程が確定次第周知してまいります。また、保護者様からどんな研修等がご希望がお聞きする機会も持っていきたいと考えております。
3	教室の環境整備	運動活動を行う時の、スペースの使い方や課題に工夫が必要と感じております。お子さんの発達サポートだけでなく、満足感に繋がるような工夫が必要と感じております。	お子さんの年齢に合わせた運動活動を用意していけるよう、事業所内支援者会議の時に、毎月、話題に出していき、具体的なプログラム作りを取組んで行きたいです。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」長野稲塚校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 10名

回収数 10名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			□バランスボールや踏み箱・鉄棒等の大きな道具も使用できているので十分だと思います。□うちの子は年齢が高い為、もう少し広い活動スペースがあるといいなと思います。	□ありがとうございます。道具やスペースを活用して、今後も体の使い方を知る機会を持ってまいります。□ご意見をいただき、ありがとうございます。運動活動を行うスペースの使い方を工夫するようにし満足感に繋がるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10				□我が子の様子をよく把握していただいていると感じます。支援中も目が行き届いており、適切だと思います。	適正基準を満たす職員配置を、今後も継続してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				一連の流れを絵カードで示す等工夫していただいております。とてもいい環境だと思います。	入口の階段では、必要に応じてサポートを行う等、安心して安全にご利用いただけるよう取り組んでまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9	1			□室内はいつも清潔に保たれていて、快適な環境だと思います。□冷蔵庫が適切に使われています。□小部屋のようなドアが開まる(音が遮断されるような)個別療育ルームがあるといいなと思います。□もう少しのびのび運動できる施設があるといいと思います。	□ご意見をいただき、ありがとうございます。お子さんによっては、完全個別(音が遮断される部屋)があるとよいと思っております。今の施設の中で可能かどうか検討してまいります。□運動活動スペースについて、ご意見をいただき、ありがとうございます。今の施設の中で、活動を工夫し、お子さんの満足感を増していけるよう取り組んでまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				我が子の特性をよく理解した上で、適切な声掛け等、支援していただいていると感じます。	ありがとうございます。職員全員が、ほぼ毎月「発達支援研究所」のweb研修に参加しております。今後も研修に参加し、お子さんの発達支援に必要な知識を得てまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				HPにある「1人ひとりに合わせた個別療育」の通り、我が子に合った支援を実施していただいているので一致していると感じます。	今後も支援プログラム、個別支援計画に基づいたプログラム作りと実施を継続してまいります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10				個別支援計画の作成前に、面談でニーズや我が子の様子を丁寧に聞き取っていただき、その内容が計画にしっかりと反映されていると感じます。	ありがとうございます。今後も丁寧な相談対応とアセスメントをもとに対応してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				個別支援計画には必要な項目がガイドラインに沿って整理されており、我が子に必要な支援内容が具体的に設定されていると感じます。	それぞれの支援の中で、お子さんにあった内容設定を継続してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10				個別支援計画で示されている内容が日々の活動や声掛けされており、計画に沿って支援が行われていると感じます。	ありがとうございます。個別支援計画書に基づいて、支援を行い、振り返りやお子さんの姿の共有を行い、より次の支援に活かしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				製作や運動の内容を先生方が日々工夫して考えてくださっており、活動が固定化しないよう配慮されていると感じています。	ありがとうございます。季節感も取り入れながら、お子さんの発達とニーズにあったプログラム作りにも努めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4		3	3	□そのような機会を、求めているので全く問題ありません。□幼稚園入園に向けてそのような機会が広がるかという点、事業所自体が交流しているのかどうかは知らない	感染症の心配が少ない時期に、今後検討していく予定です。開催時期が決まり次第、お知らせを出す予定であります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				契約時に丁寧に説明があり、わかりやすかったです。安心して我が子を預けられると感じました。	ご契約時にご説明しております。又、必要な機会がある時に、ご説明いたします。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				わかりやすく説明していただいております。質問にも丁寧に対応していただいております。	ご説明を行い、入口すぐの待機スペースにて掲示。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10				特にはありませんが、先生方に我が子の困っていること等を質問すると、丁寧に教えていただいております。	ありがとうございます。今後、保護者様向けの諸集団でのペアレントトレーニングを開催予定です。	
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10				日頃から我が子のことを丁寧に共有していただき、共通の理解ができていると感じます。	初回面談や、その後の個別面談、支援後のフィードバック等で、情報をいただいたりお聞きしたりしております。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				定期的に面談や助言をいただいております。内容も適切で助かっております。	時期を見て、面談をお願いしております。又、心配事が起きた時には、その都度ご予約を取っていただいております。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			我が子の気持ちや特性を理解した声掛けや関わりが多く、寄り添った支援をしていただいていると感じます。	お子さんの思い、保護者様の思いを大切に、発達支援と照らし合わせながら、今後も丁寧に対応していきたいよう取り組んでまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	7	特に設けられていません。	保護者会開催につきまして、現在計画中になります。日程が決まり次第、周知致します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			日頃から先生方に「どんな些細な事でも相談してくださいね」と声をかけていただいております。相談しやすい体制が整っていると感じます。	個別相談をお受け出来る事を、契約時にご説明し、必要に応じてこちらからもお声がけを行っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			フィードバックや「きらりのビジネスライン」で常に連絡が取りやすく、情報共有がしやすいと感じます。	毎回支援後に保護者様と直接お会いして、実施プログラムの説明とお子さんの様子をお伝えしております。必要に応じて、「きらりのビジネスライン」を使用して、伝えあっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			SNSで活動の様子が写真つき（お顔は隠されています）で発信されており、内容がよくわかって助かっています。	当事業所ホームページにて毎年2月に公表を行っております。今年度開所教室にて、今回が初めての公開です。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			(お子さん)の名札の管理が徹底されており(利用時間以外ロッカーや靴箱の名札等を外してある)他の方が来る際やSNSへの写真掲載前も、都度丁寧に確認していただいているので配慮が丁寧だと感じます。	今後も個人情報の取扱いには十分に注意し、個人情報の取扱い研修を実施してまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			説明があり、内容は周知されています。想定訓練も実施した報告を聞いています。	契約時にご説明し、訓練は年間計画に沿って実施しております。実施した内容は、支援室入口にコーナーを設けてあり、掲示してみなさまへ周知しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			実施されており、実施後は張り紙や報告書を通じて共有されています。	年間計画に沿って、防災訓練を行い、必要な事が起きた時には、その都度、確認を行うよう対応してまいります。(今年は、くまが市内にまで出たので、『くま出発時の緊急時対応訓練』実施)
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			十分に配慮された環境で支援が行われていると感じます。安心して任せられます。	安全計画に基づき、今後も研修を行い、行った内容を保護者様へ周知してまいります。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			(たとえ、転んですりむいた位でも)連絡が速やかで、丁寧に説明して下さり適切に対応されていると感じます。	怪我の内容配慮を行い、お怪我された時には、例え軽いものであっても、保護者様へお伝えしてまいります。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			安心して通所でできおり、先生方を信頼している様子が日々見てとれます。	ありがとうございます。今後も安心して通所していただけるよう、取り組んでまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			時々、かるく行き渋りがありますが、通所すれば楽しんでおり先生方や友達との関わりを大切にしている様子が、安心して前向きに取り組んでいると感じます。	ご意見をいただき、ありがとうございます。通所を楽しみにしていただけるよう、今後も職員間で情報を共有しながら、プログラムを工夫してまいります。また、お子さんの気持ちに沿ったり受容したりして安心して楽しむにしていけるよう努めてまいります。
29	事業所の支援に満足していますか。	10			満足しています。通所開始から発達が大きく進んでおり、とても感謝しております。これから我が子と一緒に支えてくださる存在としてお世話になりたいと思っております。	ありがとうございます。今後も、丁寧なアセスメントと個別支援計画作成を基にお子さんの成長発達に向けた支援に取り組んでまいります。又、保護者様方へのサポートも引き続き取り組んでまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」長野稲葉校		2026年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		制度上の配置以上の職員を配備できるよう人員確保に努めております。	今後も専門職を含めて、人員を確保してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口に階段がありますが、悪天候時など、滑りやすい時期には、必要に応じて職員がサポートしたり、お声がけを行っております。	今後も天候を含め、必要な時はサポートしたり、天候（雪や大雨）によっては転倒注意等の張り紙を掲示するなどして発信してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃業務や年に2回、大掃除を行い、清潔な環境で過ごせるよう心がけております。	使用した教材は毎度消毒を行い、清潔を保っております。消毒が終了したものは、所定の場所に戻し整えております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		完全な個室はありませんが、パーティションを使用してブースを区切り、個別のブースを利用いただけるよう工夫しております。	お子様の必要な配慮面を考慮して、予約人数を調整したり、ペアリングの工夫を行ったりして環境配慮を行ってまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルに沿って、必要に応じて職員間で相談をしながら改善に努めております。	PDCAを行うにあたり、職員それぞれが主体的に関われるような工夫を行ってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度保護者様対象にアンケート調査を行っております。その結果を職員全体で共有し、ご指摘を頂いた点に関しては、早急に改善できるように対応しております。	アンケートで「ご意見等」を、いただいた点について、上長へも報告し、整えていけるよう努めてまいります。また、常日頃の保護者様の声にも対応してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼・夕礼にて、細かな伝達や意見を伝える機会をもっています。それ以外に、職員同士の面談の機会を持ち意見を出しやすい環境を整備するよう努めております。	毎日の朝礼・夕礼に加えて、それ以外に、職員同士の面談等の機会を持ち意見を出しやすい環境を整備するよう努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現時点では、第三者による外部評価は行っておりません。	現在、第三者による外部評価については検討しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ほぼ毎月、東京の発達支援研究所の定例研修にZOOMで参加しております。その他にも、地域での研修（外部研修）に参加したり、「児童発達支援センター にじいろキッズ」様へ施設・支援見学にいきました。	定例研修へ継続して参加していきたり、今回参加しなかった職員さんにも、機会を作って「児童発達支援センター にじいろキッズ」様へ施設・支援見学が行えるよう取組んでまいります。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムが作成されるよう努めております。当事業所のホームページ上と教室入り口の壁面にて掲示して公表しております。	支援プログラムについての周知を継続して、行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		少なくとも半年に1度アセスメントを行い、その時のお子さんや保護者様のニーズや課題を明確にし、そこを分析し事業所内で話し合った上で個別支援計画の作成をしております。	丁寧で複数の視点から見たアセスメントから、お子様に沿った個別支援計画の「ねらい」が見えてくるよう、事業所職員全員が参加する事業所内支援者会議を今後も取組んでまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画を作成する際にはまずは児童発達支援管理責任者と担当職員とでお子さんにとって今の最善の計画になるよう検討を行っております。その後、事業所内で会議を行い全職員が共通理解して支援にあたるよう努めております。	今後も、お子様や現場職員からの「声」を大切に、児発管としてお子様の成長や特性を把握した上で、適切な個別支援計画となるよう、必要な学びや話し合いの場を大切にした上で作成していけるよう取組んでまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月、事業所内支援者会議を行い、個別支援計画についての会議日进行、全職員で共有しております。	定期会議以外にも、必要に応じたミーティングを大切に、細やかな対応となれるよう取組んでまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの状況を把握するために、フォーマル・インフォーマルなアセスメント両方を使い、より細やかにお子さんの姿を把握するよう努めております。	より細やかなアセスメントを行う為に、多角的な視点をもてるよう努めてまいります。必要がある場合には保護者様へ相談の上、日々の行動記録を行い、お子さんの姿を捉えていけるよう努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		幼稚園等の連携も含めて、左記の狙いや支援内容を踏まえ、お子さんの支援に活かしております。個別支援計画の内容も、具体的な支援内容を設定し、作成するよう努めております。	今後も、移行支援や地域支援では、関係機関との連携を密に行えるよう、支援者会議での情報交換や書面での情報提供（保護者様の承諾を得て）を行ってまいります。

提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムについては、支援に当たる職員同士で情報共有を行い、プログラムの立案を行うようにしております。	今後も、事前ミーティングを丁寧に行い、職員間で「ねらい」を確認し、支援方法の確認等々を行うようにしてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎回のプログラムが固定化しないよう、支援に当たる際には前回の活動記録を確認する等しながら支援プログラムを考えております。	今後も、活動記録の確認と合わせて、次の支援リーダーとなる職員への伝達をしっかりと行い、意見交換を行うことで、活動に広がりをもっていけるよう取組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お一人おひとりのお子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせて個別支援計画の作成を行っております。	今後も、お子さんの状況を鑑み、個別・集団活動を組み合わせて個別支援計画の作成を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前の朝礼の際に連絡事項と本日の支援についての確認を行っております。	今後も、支援前には、連絡事項と本日の支援についての確認を丁寧に行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		お子さんの様子について、事業所内共有スペースにて情報共有を行う機会を設けるようにしております。	スペース以外にも、担当者同士での振り返りを行ってきました。今後も継続してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援後には、支援を行ったお子様の支援記録を行い、次の支援の担当指導員に情報共有がしやすいように工夫しています。	今後も、支援に入る前の段階で前回の支援では、どんな様子で、何に取り組んだかを職員同士で確認し、次の支援に繋げています。
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回のモニタリングを行っております。又、必要に応じて個別支援計画の見直しを行います。	今後も利用者様の発達やニーズに対応し、期限内でも必要がある時には、個別支援計画の見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		職員間でそのお子さんの様子等について共有を行った上で、児童発達支援管理責任者または担当職員が参加しております。	今後もお子さんの状況をよく理解した者が会議に参加していくよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から、学校や幼稚園・保育園、医療機関等と支援者会議や情報共有を行うことで、お子さんや保護者様が必要としている支援について共有・検討をする機会を設けております。	今後も、継続して各機関から共有していただいた情報については、職員間でも情報伝達を行い、支援に取り入れていけるよう、行っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園・保育園との支援者会議や、訪問を通して、お子さんの姿を直接確認したり、情報を得たりして、併行利用や移行に向けた取組を行ってまいりました。	今後も、関係機関との連携を深めていき、集団に向けた社会性の向上や運動機能の向上等、支援を行っていけるよう努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関等で丁寧に情報共有を行うことで、相互理解が深まるよう移行支援者会議に参加予定です。	今年度開所した事業所の為、この3月が初めての移行支援者会議参加となります。お子さんの得意・不得意等を始め、小学校生活を安心して送れるよう取組んでまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		長野圏域療育コーディネーター様に来所いただき、支援を見学いただきアドバイスをいただく機会を検討中です。	いただいたアドバイスを、事業所内でどのように支援に取り入れていけるか検討し、保護者様へ説明を行い、了承をいただき支援に活かしてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域のこどもさんとの交流に関しては、現在検討中です。	感染症の心配が少ない時期に、今後検討していく予定です。開催時期が決まり次第、お知らせを出す予定であります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		最近の事業所での様子や、家庭・学校での様子を支援後のフィードバックの時間や、相談支援の時間に共有を行っております。	今後も、ご希望が出た時や必要な時に、お子様の状況を踏まえ、それに合わせた支援内容や対応について相談支援を行ってまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング開催予定で準備を進めております。	グループワークでの保護者様向けペアレントトレーニングを開催予定です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更が起きた時に、「利用者負担」等について説明を行っております。	今後も必要な場面において、「利用者負担」等について説明を行ってまいります。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画の新規作成・更新の際には保護者様とお話をする機会を設け、保護者様とお子さんに意向をお伺いをする時間を設けております。	今後も、意向を踏まえ、個別支援計画の作成を行ってまいります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を提示しながら丁寧に計画内容について説明を行っております。	説明を行う時には、保護者様に支援の目標や具体的な活動内容が伝わりやすいように具体的な説明を心掛けております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様から子育て等の相談があった時には、お聞きして、その場で回答できる場合は行い、お時間を要する場合は、家族支援個別相談のご予約を取っていただき対応しております。	今後も支援後のフィードバック時での対応や家族支援個別面談等で、相談対応を行ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェを開催を検討中です。小さなグループでのママカフェ開催を開催する方向でおります。	今後は、それ以外でのグループ形態での開催も検討していき、保護者様間での交流サポートとなるよう取り組んでまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧に話を伺う機会を設け、迅速に対応してきました。	今後も、お子様や保護者様からお話があった時には、丁寧に話を伺う機会を設け、迅速に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		長野稲葉校専用のInstagram等を定期的に更新し、活動の様子等を発信してきました。	今後も、長野稲葉校専用のInstagramや、ブログを定期的に更新し、活動の様子等を発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してきました。	今後も、個人情報の記載された書類等は鍵付きの書庫に保管し、個人情報の取り扱いに十分留意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんや保護者様に伝わりやすい方法として、文字や絵・イラスト等を使って視覚的に伝える工夫をしております。	保護者様には、ビジネスLINEを通してコミュニケーションをとるなど、一人ひとりに応じた配慮を行ってまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		お隣の「トラスト」（塗装屋さん）から夏祭りに子ども達がご招待をうけ、お伺いしました。	春になったら一周年記念に合わせて近隣の方々をご招待し、支援見学や交流を計画しております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種のマニュアルがあります。職員間で、マニュアルを共有しております。	今後も、マニュアルをもとにして、毎月防災訓練等を行い、有事の際にすみやかに対応していけるよう努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しております。それをもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してきました。	今後も、業務継続計画（BCP）をもとに、非常時伝達訓練等も保護者様参加型で実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様より、事前に服薬についてや健康状態について情報共有を行っていただいております。	今後も丁寧な服薬や受診等の情報共有を行い、安全に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現時点で、児童発達支援ご利用のお子さんで、強い食物アレルギーがあるおさんはおられません。	ご利用児童の保護者様にはアレルギー状況を確認し、万が一の事態とならないよう取り組んでおり、今後も継続いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		非常時に必要な避難の方法を確認するとともに、毎月安全点検を行うことで、お子さんが使用するブースや教具に危険性がないかどうかを確認しています。	今後も定期的な遊具や教室環境の完全確認を行い、安全な環境の中で支援を行えるよう努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、非常時にどのように行動するかを毎月確認の為に訓練を行っております。	非常事態での対応方法確認の為に訓練を行っております。訓練内容等を、教室内に掲示したり、教室のビジネスラインで発信したりしてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こった際には、資料を作成し職員全体に共有しております。また、どのような改善策を行っていくか話し合い、全体周知してきました。	今後も、改善策が決まったら、それを書面での回覧だけでなく、朝礼や夕礼の時間に周知し再発防止に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が虐待防止研修に参加しております。	今後も、全職員が虐待防止研修に参加していけるよう体制を整えてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要となる場合には（現時点では対象者がおりません）職員間で話し合い、職員全体で共有いたします。その際は、個別支援計画にも記載いたします。	契約時に、やむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行っており、まずは、そうならない為の支援に取組んでまいります。